

蒲西われら

『われら』の『わ』は『3わ』
和・話・輪

蒲郡西部小学校 校長室だより
校長 星野 佳子
第 41(163)号 令和6年3月15日

卒業・年度末に向かって

けいこおねえさんの読み語り 3/6「一枚の卒業証書」 3/13「今年度の最終会」



「けいこおねえさん」(杉江恵子さん)の読み語り。月1回程度、低学年に行っていたのですが、10月からは、けいこおねえさんのたっでの希望で、3年生以上の学年にも読み読りの時間をつくりました。大型絵本や紙芝居など、心が豊かになる時間が毎回楽しみでした。3/13(水)は、今年度の最終会でした。来年度も全学年で行っていただけます。楽しみにしていきましょう。

3/6(水)には、6年生に読み読りをさせていただきました。「一枚の卒業証書」という紙芝居で、卒業を控えたこの時期に、毎年お願いしています。蒲郡市出身の故金沢嘉市さんが東京で教師をしていたときの実話を元にしたお話です。終戦後の東京で、両親を亡くし戦争孤児(昔は浮浪児と呼ばれていました)



だった山本少年は、ある日、果物屋のおじさんに助けられました。しばらくして働きながら小学校に通いはじめ、担任の金沢先生や同級生と楽しい学校生活を送ります。しかし、6年生になったある夜、山本少年は突然いなくなってしまう。金沢先生と同級生は懸命に探しましたが、消息不明のままとなり「みんなで一緒に卒業したい」という願いはかなえられませんでした。山本少年の卒業証書の実物は、蒲郡市立図書館の『金沢ヒューマン文庫』の資料庫で、今もなお山本少年を待ち続けています。卒業式は、正式には『卒業証書授与式』です。6年生は、卒業に向けて卒業証書の重みを感じることができましたね。

3/8(金)最後の「なかよしお話会」5年生へバトンタッチ!

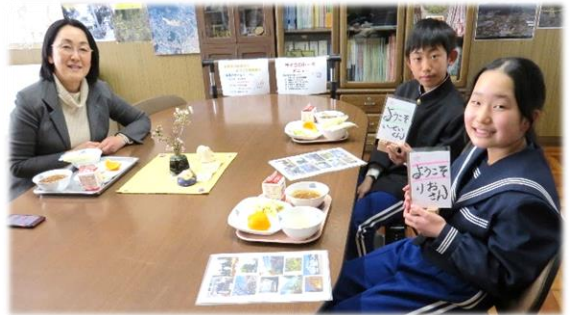
6年生が読み読りをしてくれる「なかよしお話会」いつも楽しみでした。6年生の皆さん、1年間ありがとう! 8日には、バトンタッチされた5年生が伝統を受け継ぎ、読み読りのデビューをしました。



3/6 (水) ~3/8 (金) 校長室でお別れ会食

6年生を順番に校長室へご招待。一緒に給食を食べました。モグモグタイムのあとは、恒例のサイコロトーク。「将来の夢・なりたい職業」「蒲西小へ一言どうぞ!」「蒲西小に通って思ったこと」「6年間で一番の思い出」「6年生での思い出」「中学校で楽しみなこと」などサイコロをふって出た目のお題を語ってもらいました。

短い時間でしたが、一人一人とお話できてとても楽しいひとときでした。また一つ「宝物」の思い出をありがとう!



3/8 (金)・3/11 (月) 6年生「どうする腰掛け」上ノ郷城跡ベンチ作り

6年生は卒業制作として、上ノ郷城跡にあるU字溝のベンチに色づけと文字入れを行いました。上ノ郷城跡保存研究会の皆様のおかげで、すばらしい活動に取り組むことができました。話し合いを重ねてこだわりぬいた「ストロイエロー」の色と「れきしをつなぐ」の文字、「鶴殿の家紋」が、城跡と水仙の景観に溶け込み、子どもたちの思いが伝わるステキなベンチに生まれ変わりました。ベンチに座ると海までの景色が見渡せます。もうすぐシダレザクラが咲く季節を迎えます。ぜひ、お越しください。



3/14 (木) 6年生が中部中1年生と交流

中学校での生活や学習、友人関係などについて、中部中の先輩と6年生が交流しました。6年生が安心して入学の日を迎えるとともに、中1生も先輩としての自覚を高めます。

学校紹介のスライドを見たり、校内を案内してもらったりグループごとに質問に答えてもらったり・・・

頼もしいお兄さん、お姉さんになった蒲西小の先輩たちとリラックスした交流ができて、とても良い機会でした。準備をして後輩たちを温かく迎えてくださった中部中に感謝です。

